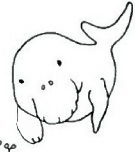

ジュゴン Vol.81

ちゃんぶるニュース

 **SDCC 2015. 7. 28**
Save the Dugong Campaign Center

CONTENTS



- 2/3 翁長知事を支える闘いを
- 環境監視等委員会の公開と参加を！
- 全国に広がる埋立土砂搬出反対の動き
- 4/5 報告：じゅごんの里ツアー
- 6/7 戦後70年 GAMA 上映会
- コラム「龍宮神の祟り」
- わんさか通信★ジュゴンのわ

7/15 衆議院安保特別委員会で、安保関連法案いわゆる戦争法の強行採決が自民公明によって行われ、16 日本会議でも強行採決された。戦争法は政府の恣意的判断で、世界中どこへでも自衛隊派兵と武力行使を可能とするものだ。安倍は衆議院での数に任せた強行採決で、憲法違反の戦争法を衆議院通過させた。国民主権を否定するクーデターである。安倍は日本を戦争国家・独裁国家にしようとしている。

そして、辺野古新基地建設は、戦争法による戦争国家作りと一体のものだ。すでに自衛隊は沖縄をはじめとする全国の演習場、米国本土などで海兵隊と共同訓練を繰り返している。辺野古新基地は海兵隊と自衛隊の共同の武力行使の拠点とされる。

安倍政権をたおし、 ジュゴンの海をとりかえそう

しかし、主権者の運動はこうした暴挙を許さない。

7/14、日比谷公園での戦争法反対集会には2万人があつまり、そのまま国会へデモ。15,16 両日も国会前は若者を先頭に、深夜まで行動が続いた。全国各地で強行採決に抗議する行動が行われた。安倍も「国民の十分な理解は得られていない」と表明せざるをえなかった。

7/16 沖縄県の第3者委員会が埋め立て承認に関して、法的瑕疵があるとの答申を翁長沖縄県知事に提出した。仲井真前知事は、「環境への悪影響を排除できない」とする環境生活部長の意見も無視して、政治的に「埋め立て承認」に踏み切った。法的瑕疵ありとの答申は極めて妥当なものだ。翁長知事は今後「埋め立て承認取消」に踏み切ると見られる。沖縄県民はこれを強く支持し、「辺野古新基地撤回」の運動はさらに広がる。SDCC もこの運動とともに、沖縄防衛局、政府を追い詰める行動を強めていく。

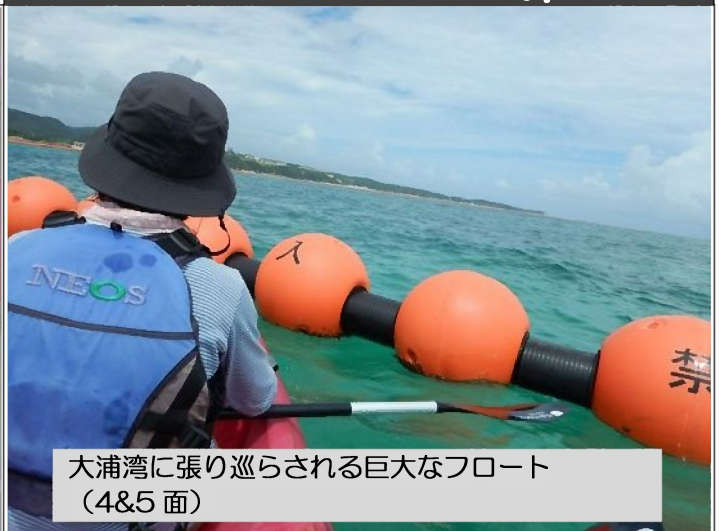
「戦争法廃案」と「辺野古新基地撤回」をひとつにして運動をひろげ、安倍政権をたおそう。辺野古新基地を撤回させ、ジュゴンのすむ静かで美しい海をとりかえそう。 (関西 松島洋介)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



「No War, Yes Peace」と赤い衣装で元気にアピールする「愛と平和の女子パレ」(巻頭言関連)



大浦湾に張り巡らされる巨大なフロート (4&5面)

情勢

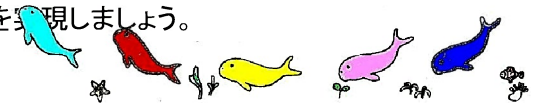
「埋め立て阻止、翁長知事を支える闘いを」

7月16日沖縄県第三者委員会は翁長知事に「埋め立て承認は法的に瑕疵がある」と報告しました。第三者委員会は環境、法律の専門家各3人で構成され、今年1月から12回の会合で「公有水面埋立法に基づく辺野古大浦湾埋め立て承認の手続きに問題はなかったか」を議論してきました。翁長知事は「報告書を最大限尊重する」「辺野古基地は作らせない公約を効果的に判断できるか一生懸命頑張りたい」と述べ、8月下旬には「承認の取り消しか撤回」を判断することになります。政府は「工事を進めながら裁判で争う」(菅官房長官)と海底ボーリング調査後にむけ、埋め立て着工の準備を進めています。すでに、海に土砂を投入する囲い(ケーソン)や、キャンプシュワブの海岸を「コの字形」に囲み土砂を作業船から陸揚げする工事用岸壁、ケーソンの仮置き場などの工事契約6件(584億円)が契約済みです(沖縄タイムス7月3日)。

今まさに正念場の時です。

辺野古現地の闘いとむすび、本土から翁長知事を支える運動が重要です。沖縄全土では島ぐるみ会

議が結成され、辺野古バスで家族連れが座り込みに参加しています。辺野古基金には3億7500万円が集まり、本土からのカンパが集まっています。沖縄県議会は、沖縄防衛局が進める本土や奄美からの大量土砂搬入に対して、侵略的外来種(アルゼンチンアリなど)の侵入防止を目的とした「県外土砂規制条例」を制定しました。また、名護市役所との意思疎通を図るために6月新設の県辺野古新基地建設対策課に名護市の課長級を受け入れました。政府からの訴訟に対抗する担当課です。5月末の琉球新報・沖縄テレビの世論調査では、承認取り消しに賛成が77.2%、支持しないが16.8%で、県内移設反対は83%にのぼっています。戦争法案が参議院で審議される最中での辺野古大浦湾の埋め立て承認取り消し・撤回になります。日米共同派兵の出撃拠点となる辺野古新基地建設を許してはなりません。SDCCは戦争法案反対の環境NGO共同声明の呼びかけ団体になりました。「基地ではなくジュゴン保護区を」と「辺野古への大量土砂の搬出反対」署名と、戦争法案廃案を要求しましょう。



～ 7月6日沖縄防衛局交渉報告 ～

「環境監視等委員会の公開と参加を！」

5月18日の沖縄防衛局交渉、19日の沖縄県交渉に続き、7月6日に沖縄防衛局交渉を持ちました。5月の沖縄県交渉で海岸防災課長が「沖縄防衛局がジュゴン保護策を議題にすることを申し入れる」と回答し、6月4日に沖縄防衛局に「普天間飛行場代替施設建設事業に関連する海上ボーリング調査等における環境保全対策及び環境監視等委員会について」を照会しました。沖縄防衛局は6月18日に沖縄県に「ジュゴンに関する環境保全措置については、第5回環境監視等委員会で討議がなされたところ…」(防衛局回答文1(1))と回答しています。この点を交渉の中心に置きました。

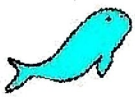
沖縄防衛局は「ジュゴン監視計画案」が「ジュゴンが工事現場に近づいたときに工事を中止するための監視計画だからジュゴン保護策だ」(7月6日 沖防交渉)と居直りましたが、監視計画案はあくまで工事現場を守るためのものにすぎません。ジュゴンが工事現

場に近づくのは、そこに餌場の海草藻場があるからで、海草藻場の保全や移植を検討することが先決です。沖縄防衛局の環境影響評価書にすら明記されていることで、環境監視等委員会で評価書に基づく議論すらしていないことが問題なのです。

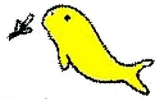
環境監視等委員会を非公開にし、議事録すら作成せず、議事要旨と膨大な資料をホームページに添付することでごまかしています。このような委員会議論では、なんら科学性を担保したことになりません。松田裕之環境監視等委員(横浜国大)も自らのブログ「公開書簡」で「委員会の公開と沖縄県の委員会参加」を求めています(6月10日)。議論の科学性を担保するためにも「委員会で議事録作成を再論議すること、委員会の公開と沖縄県など関係自治体や市民の参加を求める声があることを委員会に伝えること」を要求しました。

(事務局 蛭川)





フォーラム「奄美の海山を守り沖縄と連帯する」と 「辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会設立会議」 in奄美大島



5月30日と31日に鹿児島県奄美大島で、フォーラムと全国連絡協議会設立会議が開催されました。

30日のフォーラム「奄美の海山を守り沖縄と連帯する」は、100名以上の参加者で会場は満杯でした。海の生き物を守る会の向井宏さんから、ジュゴンのこと、海草藻場の重要性、採石が海に与える影響などの問題について話され、次に、日本自然保護協会の安部真理子さんから「辺野古の埋め立てが環境に与える影響」と題し、埋立や奄美の自然との関係について話されました。また前日、住用町市(いち)で実態調査が行われ「海中のサンゴが土砂をかぶって瀕死の状態であり、魚類の生き物がほとんど確認できない」と土砂流入の影響を受けているとの報告に、悲しまれている人がいました。また地元の方から、長年にわたる環境保護問題の取り組みや、島の自然を残したいと報告がありました。



5/30 フォーラム

31日は、埋立て用土砂採取予定地の瀬戸内海、門司、奄美大島の住民団体の7組織の代表が初めて奄美に集結し、土砂搬出阻止に向けて「辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会」設立会議が開催されました。「辺野古新基地計画と自然破壊行為の即時中止・撤回を求め、一粒たりとも故郷の土を戦争に使わないをスローガンに、お互いの交流・連携を強めるため辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会を結成する」との趣旨で設立され、顧問と2人の共同代表が選出されました。会議に沖縄県議会議員5人、鹿児島県議会議員2人、奄美市議会議員1人と安部真理子さん、そしてSDCCもオブザーバーとして参加しました。沖縄、鹿児島島の両県議から、6月議会で、この問題に取り組んでいくとの発言がありました。

SDCCは、30日のフォーラムでブースを出して署名集めとグッズ販売をさせていただきました。奄美大島の皆さんにジュゴンを知っていただく良い機会になりました。
(首都圏 矢敷克子)



5/31 全国連絡協議会設立会議



7/6 沖縄防衛局交渉

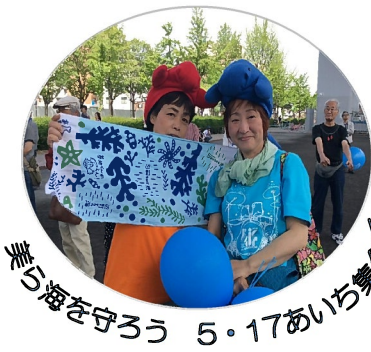
NACS-Jの安部真理子さんにも同席いただきました



住用町市(いち)の採石現場。土砂が流れ込み、死の海に。大雨のときは土砂崩れで道路が通行止めになることもしばしば。

フォーラムのブース。奄美でもジュゴンは大人気☆

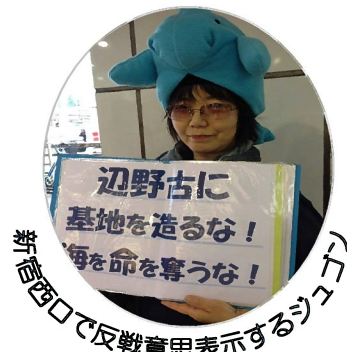




美ら海を守ろう 5・17あいち集いで



東京都荒川線沿いのイベントで



新橋西口で反戦意思表示するジュゴン



関西本線から伊勢線で ひとりでトレイン!



京都から女withモンチッチ



鴨川沿いできょうだいジュゴンデビュー☆



いつも元気なふたり組in京都



県民大会に連帯ブルーがin大阪



ひとりでトレイン! in京都

ジュゴンの着ぐるみやパネルを持って大阪環状線をひとめぐりする「ジュゴンでトレイン!」今年5月17日に実施しました(前号に報告)。同日アクションしませんか、と呼びかけたところ、全国からこんなにたくさんの楽しい報告が届きました。

皆さん、ありがとうございました!(全部載せられなくてごめんなさい)



母島のジュゴンも街頭アピール!



姫路の駅前~☆



鳥栖教会はジュゴンまつり☆



愛と平和の女子パレードジュゴンin



もと島ぐるみバスにて県民大会in!



熱きセルラースタジアム那覇から



5.17沖縄県民大会



阿古島 夕暮れ時に前浜で

7月3日～5日、今年も辺野古現地を訪れる「じゅごんの里ツアー」を開催しました。1日目は普天間基地、嘉手納基地を間近に見た後、名護市役所へ。2日目は、辺野古テント村、カヌー体験、シュワブゲート前行動など。3日目はふたつのコースに分かれて、名護市東海岸を散策しました。



名護市役所訪問



テント村の座り込みは4094日。シュワブゲート前は363日目でした。厳しい状況が続きます。



瀬高の浜からカヌーを漕ぎだし、大浦湾を堪能。張り巡らされたフロートも見ました。

名護市基地対策係訪問

名護市訪問では、基地対策係の方に、沖縄の基地の歴史、辺野古の現状、名護市の基地対策体制について伺いました。様々な問題は、国が情報を隠してきたことに起因しており、それを開示させていくことが重要ですが、現在、県との情報共有も十分にできないとのことでした。そこで、改善策として、この6月に基地対策係から県の辺野古新基地建設問題対策課に職員が出向したというタイムリーな話も聞けました。話の最後に、「基地は何のために必要ですか。それは地上戦で4人に1人がなくなった沖縄が背負わなければいけないですか。」と静かに力強く私たちに問いかけられました。質疑は時間が足りないほどで、地域活性や教育に至るまで幅広い質問や要望に、誠実に答えていただき、とても有意義な時間を過ごせました。

(関西 正阿彌(しょうあみ))



辺野古の浜で。メッセージを集めたバナーとリボンを結びました。

第10回じゅごんの里ツアー



シュワブ前では、ピースキャンドルにも参加。手を振り返してくれる車が増えました☆

はじめて参加して

実際に足を運んでみるまで知らなかったこと、感じられなかったことがたくさんありました。基地と住宅の近さ、テント村で座り込みをしたりピースキャンドルで平和のメッセージを続けている方々の姿や想い、ゲート前や辺野古の海のフロート近くでの緊迫した雰囲気…。そして、きれいな海やおいしい食べ物。「ジュゴンの見える丘」から見えた青い海、カヌーで間近に見た海は本当にきれいでした。こんなにきれいな海を埋め立てて、基地を作るなんて考えられません。未来を考えた時、残したいのは基地じゃない。誰かのいのちを奪う戦闘機が飛び立つ場所ではなく、ジュゴンを始め、たくさんのいのちが生きる美しい海、子どもたちの笑顔が響く海であってほしいと心から感じました。

鈴木沙彩

戦後70年の今年、やんばるの沖縄戦を通して、基地や平和を考えようと企画。ほんの70年前、戦場だった沖縄。もう過ちを繰り返したくないと感じました。

瀬高灯台跡で説明される浦島悦子さん。

3日目「やんばるの沖縄戦—収容所跡を歩く」コース。



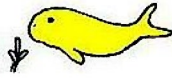
3日目「地元おじいに行くやんばるの暮らしと信仰にふれる旅コース」



ガイドの大城さんに瀬高集落の御宮、墓所、城(グシク)跡などを案内していただき、収容所時代のお話も聞きました。瀬高区長さんも同行してくださり、地域への深い思いを感じました。



報告



6月14日『GAMA一月桃の花』 上映会&平和のつどいを終えて

午前の部は満席となり、2回上映で140名程の参加者がありました。エイサー、三線ライブで盛り上がり、沖縄料理や環境に配慮した商品販売など11のブースで賑やかに、沖縄戦の写真展示に見入る方もいて、良い雰囲気になりました。上映後の辺野古の話で、沖縄戦と今の辺野古の現状をつなぐことができましたと思います。

今、私たちは大きな岐路に立たされています。日本が平和な国に向かっていけるのか…。沖縄を捨て石にし、多くの命を犠牲にし、そして今も基地を押しつけ続けている日本。誰かの犠牲の上に本当の平和なんてありえない。日本が平和な国なんて嘘、それを直視しなければ。

日本政府は辺野古に新基地を造るといい、いくら反対しても強行を続ける。キャンプシュワブ前では、沖縄戦を生き抜いたおじい、おばあも座り込む。辺野古沖に海保の巡

視船がずらっと並んだのを目にして、戦争の時と同じ“恐怖”を感じたという。ほんの70年前のこと、沖縄では戦争は終わっていない。

証言に基づき沖縄戦の実相が描かれ、戦争とは何かを知らしめ、『命どう宝』を伝えるこの映画の上映が各地で開催されればと思う。辺野古の新基地建設を止め、ジュゴンの海を守り抜き、日本を真に平和な国に変えていきたい、そう思う。
(関西 池側恵美子)



オープニングは「月桃の花」歌舞団の力強いエイサー



奄美・沖縄島うた文化を考
える会の牧志徳さんのト
ークと三線ライブ



沖縄戦の写真も展示しました。
じっくり眺める方も。



『宮森・630を伝える会』 集会を担って

7月11日、「宮森・630を伝える会」は、明治学院大学国際平和研究所の先生方や学生たちと一緒に実行委員会を作り、集会「いま沖縄で起きていること～どこへ行く日本、どうするあなたは？」を開き、約300人が参加しました。

明治学院大学のW君は、沖縄について考える「沖縄デー」を作り、活動していることを報告。Aさんは、「民主主義の最先端」の沖縄で、多くを学んだ「辺野古学校」について報告。沖縄国際大学・大学院教授の前白博盛さんの講演は、「沖縄基地問題—問われる日本の民主主義と安全保障」。憲法を凌駕する日米地位協定のことを話されました。

「宮森・630を伝える会」の牛島さんから、宮森小学校の米軍ジェット機墜落事件、沖縄国際大学米軍ヘリ事故等を報告。明治学院大学国際平和研究所研究員のジョン・

ミッチェルさんは、「沖縄の枯葉剤」を告発。辺野古リレーのK君は、沖縄の民意を無視するこの国に民主主義はあるのかと憤っていました。(首都圏 宮城詔子)



龍宮神の祟り ~ コラむ・コラム ~

このところの災害の多発は、龍宮神の祟りを思い起こす。気象衛星「ひまわり」による台風11号の映像は、まるで龍宮神が空海に逆襲する姿で室戸岬に向かっていった。しかし悲しいかな、日本人は空海による龍宮神信仰の迫害の歴史を知らない。何故に四国88箇所もの霊場に真言宗の寺を建て、「お遍路」という実しやかな巡礼の旅のシステムを作ったか？その理由を考えようとしなさい。

また台風11号の大雨は和歌山県新宮市にも被害をもたらし、再び熊野川の大氾濫が心配された。実は和歌山にも、空海は龍宮神迫害の拠点を置いていた。高野山には真言密教の根本道場。日高の道成寺には清姫退治の物語。熊野三社の歴史偽装隠蔽装置、等々。

私はこれらの観光地を、ある時は三好さんに、またある時は松本さんに案内してもらったが、嘘の歴史文化には愕然とさせられた。戦後70年も経つというのに、日本人は未だ戦前のままだ。しかも此処に来て現総理の安倍晋三は、来年のサミットを三重の志摩・伊勢で行う

と決定。各国首脳を伊勢神宮に案内し、古来日本の皇統と神道文化の美しさを自慢するという。そこで私は、面白い、受けて立とうと思った。

伊勢神宮こそは倭国の王権を奪った崇神による歴史偽装目的で建てられた神社に他ならないからだ。本来王権を継ぐべき丹波道主を虐殺した崇神が、道主の娘たちを自分の息子垂仁の妻として当てがい、そこで長女ヒバス姫から産まれた倭姫に歴史偽装の役を与えたその結果、奈良の笠縫邑から遠く離れた三重の五十鈴川に建立されたのが、伊勢神宮であった。

だがしかしこの伊勢神宮。実体はヒミコの歴史を隠し、天照大神であるヒミコに御食津を捧げる神として、龍宮神を外宮に置いた形にしているのがあった。しかし、それでは龍宮神が怒らぬ訳は無い。急ぎ安倍晋三の暴走を止めない限り、日本は滅びてしまう。このような日本の歴史偽装を証明するのは、一見難しいが、答を解く鍵が沖繩にあるのだから、来年が楽しみだ。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

① わんさか通信 ★ ジュゴンの ①

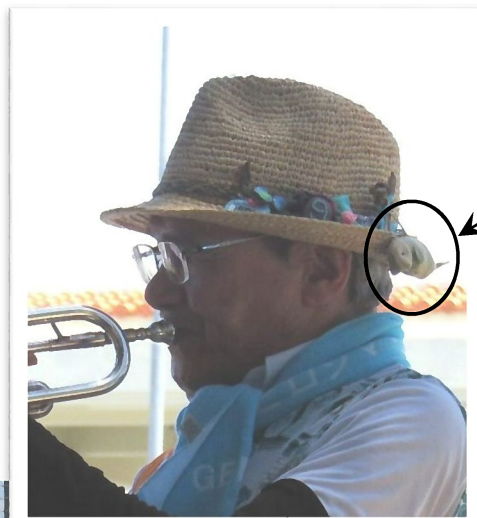
長崎までしっかりお供するんだよ ゆーらゆら♪

6月14日、キャンプシュワブゲート前で「一緒につれて行って下さい」そう言ってジュゴンマスコットをお渡した相手は山内さん。被爆70年の今年「なくそう核兵器・つなごう被爆者の願い」と原水爆禁止国民大行進の、通し行進者の方だ。

わんさか大浦パークをスタートし8月6日までにゴール地の長崎に向けてPRしながら行進中に、辺野古のテントに立ち寄りされていたところだった。この日も名護は大変な暑さ。それでもこやかな笑顔でお話を聞かせて下さった。

テントでの交流もあつという間にまた行進再開、もう少しお話を伺いたかったなあ〜と思いながら、お見送りをしていたら「あ！」ジュゴンが帽子でゆーらゆら♪（付けてくれているのを発見。嬉しい）「長崎までしっかりお供するんだよ。気をつけて行ってらっしゃい！」と手を振って見送りました。

そろそろゴール間近ですね、頑張ってください。日本は戦争が出来る国になってはダメなんです。（沖繩・小平）



帽子にぶら下がりゆらゆら揺れる
ジュゴンマスコット



《 今後のスケジュール 》

<東京>

- ・8/1~2 東京全交 (北とぴあ)
- 8/2 (日) 「新基地建設阻止からジュゴン保護区づくりへ」
9時30分~13時 北とぴあ・集会室
2日間通しの参加費 3000円 分散会のみ 1000円
- ・9/23 エコメッセ 2015 in ちば 10時~16時
@幕張メッセ 入場無料
- ・止めよう! 辺野古埋立て9・12国会包囲
14:00~15:30 @国会周辺

<大阪>

- ・8/9 「沖縄、パレスチナ、アフガニスタンの平和のためにできること」@エル大阪 5F 視聴覚室 参加費: 一般 700円
- ・8/15 沖縄戦70年 特別上映会 @シアターセブン
13:20~ 『GAMA 月桃の花』 上映
15:40~ 『MABUI』 上映 前売: 1,000円 当日: 1,200円
- ※8/23 (日) に、大阪アクション主催 (SDCC も賛同団体) で、前泊 博盛さん (沖縄国際大学教授) の講演会をします。時間場所は未定。決定後インターネットやチラシでお知らせします。

出張授業をしています♪ in 関西

関西事務所では出張授業を行っています。保育園~大学、市民グループ、各種イベントに出かけていきます。下記関西事務所まで、お気軽にお問い合わせください。



5/26 大阪市立南港緑小学校
平和教育の一環として、沖縄のジュゴンと基地、沖縄戦のお話をしました

6/3 京都のぶどうの木保育園
ジュゴンのお話の後、一緒に給食を食べました。



7/2 ぶどうの木保育園の子どもたちが、沖縄平和キャンプで、辺野古テント村を訪問。ジュゴンのお話が役立ったかな?

カンパのお便り!

今までのリーフレットの在庫がなくなり、改訂版 5万枚 (約30万円) を発行しました。より見やすい改訂版でジュゴンサポーターを広げたいと思っています。

また来年9月の IUCN (国際自然保護連合) 第5回世界会議 (ハワイ) 参加に向け、準備をはじめました。活動資金が必要になってきていますので、カンパをよろしくお願ひします。

Newリーフレットできました

Editor's Note

毎月 1、2 度のペースで続けているじゅごん茶話会。少人数ながら、色んな方がお見えになります。7月16日の会では、沖縄の会の芳沢さんに三線を教えていただきました。これからも三線教室を続けることになりました。次回は 8月20日 (木) 午後2時~4時。参加費無料、おしゃべり&お菓子付き。関西事務所へおいでください。



(山根富貴子)

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL. 81 2015年7月28日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-21
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:
加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター
口座番号 00140-9-660199
他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店
口座番号 普通 8159084

ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!